

2025年12月18日作成 Ver.4

《情報公開文書》

下顎智歯抜歯後の知覚鈍麻予測としての Apex Position 評価の有用性に関する多機
関共同後ろ向き観察研究

研究の概要

【背景】

下顎智歯（親知らず）の抜歯は口腔外科手術において頻度の高いものの一つです。抜歯の術後合併症の1つである下唇の知覚鈍麻は、発生率は低いですが症状が中長期的に継続することが多く、患者さんの口腔機能に影響を与える可能性のある合併症であり、留意が必要です。

一般的にまずパノラマX線写真（以下パノラマ）で智歯歯根と下歯槽神経が走行する下顎管の位置関係を確認します。必要に応じてCTを撮影することがあります。医療経済、時間および放射線被爆の観点からパノラマX線のみでもある程度の危険性の評価が必要になります。過去にそのような研究はありますが、いずれも少数例であり、科学的根拠のある報告はありません。

【目的】

パノラマX線から智歯歯根と下顎管との関係を分類（Ap評価を用いる）し、段階ごとの知覚鈍麻発生率および知覚鈍麻発生のリスク因子について検討します。

【意義】

本研究により、低侵襲での術後知覚鈍麻発生の危険性について評価することができます。今後の口腔外科診療に貢献できると考えます。

【方法】

研究参加施設（長崎大学病院、重工記念長崎病院、市立大村市民病院）で症例を集めて、患者背景およびパノラマX線写真から所見を収集し、症例ごとにAp評価を用いた分類を行い、知覚鈍麻発生の有無とリスク因子を解析します。

対象となる患者さん

2018年4月1日から2021年3月31日の間に研究参加施設（長崎大学病院、重工記念長崎病院、市立大村市民病院）でパノラマX線写真を撮影されて下顎智歯を抜歯されている20歳以上の患者さん。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

本研究は診療録より下顎水平埋伏智歯抜歯時の患者情報、術前情報およびパノラマX線所見に関する情報を集めて、検討を行う研究です。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への情報の提供について

本研究に用いる情報は代表機関へ統計解析のため集められます。

提供先：長崎大学病院 口腔外科 福嶋 大将

提供方法：患者データ入りエクセルファイルを共同研究施設からWeb送信で受け取ります。

情報の利用開始予定日

本研究は2026年1月8日より共同研究施設から集められた「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027年12月31日

研究実施体制

研究代表者

所属：長崎大学病院 口腔外科
氏名：福嶋 大将
住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1
電話：095(819)7698

共同研究機関／研究責任者

この研究は長崎大学病院を中心に県内3機関で実施します。
詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

重工記念長崎病院 歯科口腔外科 六反田 賢
市立大村市民病院 歯科口腔外科 古川 浩平

長崎大学病院における 情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 口腔外科 担当者名 福嶋 大将 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7698 FAX 095（819）7700	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）	